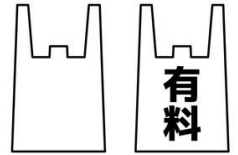




レジ袋 有料化



7月1日から、コンビニでのレジ袋が有料化となった。ム・ネッティ社長はこのニュースに興味津々（しんしん）である。さっそくコンビニに行き、不要不急の買い物を行った。店員さんに何と言われるのか楽しみにしていたところ、なんとレジさんに「レジ袋は必要ですか？」と聞かれ動揺してしまった。「入りません」と答え、カウンターに置かれた商品をそのまま両手に持って店を後にした。ではなぜ、レジ袋が有料になったのかを見てみよう。

【レジ袋が使われるようになった理由と現状】

レジ袋は、「丈夫で水漏れもせず、軽くて使いやすいうえ、コストも安い」ので、大量に使われるようになった。現在、日本では1年間に約500億枚のレジ袋を使っている。国民1人当たり、約420枚（1日1枚以上）である。また、世界的にペットボトルの消費量も急増している。世界全体のペットボトル消費量は10年前が3,000億本で、一昨年は4,800億本。



【なぜレジ袋の使用は制限されるようになったのか】

海洋ごみの約70%はプラスチックゴミで占められています。このうち大きさが5mmを下回るものをマイクロプラスチックと言う。その元となるのはレジ袋やペットボトルなどのプラスチック製品である。紫外線や熱、波によって碎けてできる。このマイクロプラスチックを餌（えさ）とまちがって食べた魚や、海鳥などの生き物へ深刻な影響がでている。

プラスチックゴミの海



石油からつくられるプラスチック製品



プラスチックや汚染物質は私たちの体内に取り込まれる



風雨などによって海に流れ出る

時間と共に細かくたかかれ有害物質が付着し魚が食べる